

令和8年度
事業計画書

2026年



社会福祉法人草津市社会福祉協議会

1. 基本方針

令和7年度は、昨年度に引き続き、燃料費高騰や物価高騰などの社会経済状況により、地域住民の暮らしに大きな影響があり、地域における生活や様々な活動に支障が生じております。

また、孤立・孤独やひきこもりに加え、こどもの貧困やヤングケアラー、女性の生きづらさなど、ますます複雑化した課題が社会問題化しており、誰ひとり取り残さない社会福祉の取組の推進が必要となっております。

このような中、草津市社会福祉協議会では、令和8年度に第4次地域福祉活動計画（令和4年度から8年度までの5年計画）の5年目の最終年を迎えますので、現計画に掲げる事業を着実に実施するとともに、これまでの取組に対する成果と課題を踏まえ、次期計画である第5次計画の策定を進め、市社協の今後の取組についての計画的な実施に努めてまいります。

令和8年度の予算においては、計画の達成に向けて、地域住民の創意や工夫を主体としながら、これまでに得られた活動の成果を生かして、地域の様々な活動が活性化することで、心身ともに健康を感じてもらい地域住民の健幸づくりや相互の助け合いを醸成する地域福祉の推進をしていきます。

これらのことを踏まえ、地域福祉活動計画に定める「住民主体の福祉のまちづくり」を進めるため、「福祉の風土づくり」、「住民主体の活動づくり」、「新たな絆をつむぐまちづくり」を、「市社協が取り組む福祉の基盤づくり」を進めるため、「地域で安心して暮らしてつづけることができる体制づくり」の4つの基本目標のもと、10の重点項目を定め、取り組んでまいります。

重点項目への取組について

1 住民主体の福祉のまちづくり

基本目標1 福祉の風土づくり

- ・地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発

基本目標2 住民主体の活動づくり

- ・地域福祉活動の担い手づくり
- ・地域で支えあう仕組みづくり
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり
- ・新たなボランティア発掘の仕組みづくり

基本目標3 新たな絆をつくるまちづくり

- ・分野を超えたつながりづくり

2 市社協が取り組む福祉の基盤づくり

基本目標 地域で安心して暮らしてつづけることができる体制づくり

- ・学区社協をはじめとした地域福祉活動支援
- ・ボランティアセンターの機能強化
- ・包括的な相談体制の構築
- ・地域福祉活動推進に要する財源確保

I.住民主体の福祉のまちづくり

～参加と協働の地域福祉活動の推進～

基本目標 1 福祉の風土づくり

～福祉の風土を広げ、地域のくらしの課題を他人ごととしない、地域福祉力の向上をめざします～

福祉教育や啓発活動の充実に取り組み、尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土を広げ、課題を受け止め支え合いの活動を進めます。

(1) 地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発 **重点**

見える社協、魅せる社協活動をめざして積極的な広報啓発を行い、住民への周知・啓発を行うことで、地域の取組に関心をもつ人を増やし、地域の福祉力アップを図ります。

(単位:千円)

事業・項目	内容	予算	財源
市社協広報紙 「社協くさつ」発行	市社協事業をはじめ、ボランティア活動や地域の福祉活動に関する情報を発信するために、「社協くさつ」を年4回発行し、市内の全世帯と賛助会員に配布します。	1,853 1,175	会費 共募
市社協 ホームページ運営	市社協・学区社協やボランティアなどによる様々な活動の情報をお届けできるよう、タイムリーで見やすいホームページ運営に取り組みます。	538	会費
近所力アップ講座	職員が「身近な福祉の専門職」として地域に出向き、住民同士の日頃からのつながりや、住民の皆さんとともに取り組む地域福祉活動の大切さを語り合います。	10	会費
「広報くさつ」 点字版作成・配付	視覚障害者への支援として、毎月「広報くさつ」の点字版を作成し、希望される人に配付します。	433	市受託

<関連する事業>

- ・福祉教育の推進
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(2) 若い世代に福祉風土を広げる

特に若い世代を対象に、福祉教育やボランティアのきっかけづくりに取り組むことで、小さいときから福祉を身近に感じてもらい、若年層の福祉風土を広げていきます。

事業・項目	内容	予算	財源
福祉講座活動実践事業	<p>ボランティアの育成や活動実践をいっそう推進できるよう、従来の草津市福祉教養大学・大学院やボランティア活動支援事業等を統合して実施する事業です。市民等に対して地域福祉活動をテーマとした講座を開催して地域における支え合いの大切さをお伝えしたうえで、ボランティアマルシェ等の行事に参加して活動を体験・実践できる一連の機会を提供することにより、ボランティアの育成やボランティア活動の推進を図ります。また、学生等の若い世代に対してボランティア活動への参画を呼び掛け、若い世代の福祉意識の向上やボランティア育成に取り組むとともに、若者ならではの視点や発想等を取り入れたボランティア活動の展開につなげていきます。</p> <p>他にも、障害の事業所やひきこもりの居場所である団体とも連携することで障害・ひきこもり等の理解を促進しながら、社会参加の一步として機能するように実施します。</p>	861 210	市補助 ボラ基金
社会福祉功労者等表彰式典	<p>長年活躍されている地域福祉活動者やボランティア活動者、福祉活動を推進している学校等の功績を称え表彰します。また、社会福祉の向上のため御寄付いただいた個人や団体に感謝の意を表します。</p>	349	会費
ボランティアセンターの運営と機能強化	<p>イベントや講座を通して、身近なボランティア活動の周知・啓発を行い、趣味や特技がボランティアにつながるきっかけづくりを進め、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる仕組みをつくります。ボランティアセンターの登録促進に向けた周知を強化し、活動の裾野を広げます。さらに福祉教育を通じて、地域全体で支え合う福祉風土の醸成に取り組みます。</p>	270	ボラ基金

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(3) 住民どうしが互いに見守り・気かけあう関係を広げる

住民どうしがつながり合い、お互いを見守り・気かけあう関係をつくることで、日々の生活や地域の困りごとに気づく人を増やし、地域の福祉力の向上に努めていきます。

事業・項目	内容	予算	財源
チューリップ事業 (つながりサポート 事業)	貧困・孤独・孤立により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の提供を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービス、または民生委員・児童委員等の地域の支援者につなげます。また、行政等の関係機関や協力企業を交えて連絡会議や研修会を実施し、連携体制の強化を図ります。事業は、施策連携・公民連携・地域連携の3連携により進めます。 また、当事業の効果的な周知・啓発ができるよう学校、地域、関係機関へ広く啓発していきます。	4,428 23	市受託 会費
社会を明るくする 運動	地域住民の犯罪防止と、更生保護に対する一層の理解を深めるため、関係機関・団体・学校が協働して運動を展開します。	125	市受託
地域サロン活動 支援	高齢者の見守り活動の推進や、介護予防と自立を促進するため、地域サロン活動費を助成します。また、地域サロン活動の担い手の育成、様々な相談に応じる地域サロン支援員の配置、地域サロンへの訪問活動や交流会などを通して、相談支援活動の拡充をめざします。	9,190	市補助

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・福祉委員設置促進
- ・福祉資源循環事業
- ・善意銀行事業

基本目標2 住民主体の活動づくり

～地域の困りごとを話し合い、未来に向けた人づくり・活動を考える～

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりと支えあう体制づくりを進めます。

(1) 小学校区を基盤とした地域福祉力の向上

身近な地域の集まりである町内会が所属する小学校区を、重要な地域のまとまりとして据え、小学校区の地域の特徴を踏まえた上で、地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎をなす人づくり、支えあう体制をつくりま

(1-1) 地域福祉活動の担い手づくり **重点**

地域福祉を推進するため、各学区の地域福祉活動の基礎となる人づくりを、より一層進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
福祉講座活動実践事業【再掲】	(P4参照)	861 210	市補助 ボラ基金
地域福祉活動助成	地域の支えあい活動を推進するため「福祉の土壌づくり」、「活動の担い手づくり」、「個別援助活動」、「地域福祉関係者との交流」を進める学区社協を支援します。	3,640 840	共募 ボラ基金
福祉委員設置促進	「福祉委員の手引き」を用いて、学区社協との協働による学習会等を開催することで、福祉委員活動が活発に行われるよう支援します。また、希望する学区に福祉委員委嘱状を交付し、円滑に活動できるよう支援します。	118	会費

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・活動実践ボランティアグループ応援助成金

(1-2) 地域で支えあう仕組みづくり **重点**

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けた地域福祉活動を進めていくことで、地域で支えあう仕組みを推進します。

事業・項目	内容	予算	財源
福祉資源循環事業	フードバンク等で寄せられた食糧品や、寄付等でお預かりした車いす、紙おむつ等を、市社協を介して必要とする方に提供することにより、善意のつながりづくりに取り組みます。他の関連事業で並行しているボランティアの活性化、市内の社会福祉法人との連携等の取組とあわせて、今後、物品、人材、情報等を福祉面で活かすことができる循環システムづくりを目指すうえでの第一歩として実施します。また、ペットボトルキャップ、プルトップ、使用済み切手を市社協窓口やまちづくりセンター等で収集し、資源循環と福祉活動への貢献を目指します。	276 145	市補助 善銀
生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)	地域における包括的な支え合い活動を推進するため、多様な活動団体・事業者等が連携・協議し、様々な日常生活上の支援体制づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加の推進を図ります。特に事業推進の核である「医療福祉を考える会議」は、市内全学区で継続的に取り組めるよう、行政・地域包括支援センターと連携し、取組の支援を行っていきます。	22,500	市受託
地域支え合い 運送支援事業	住民の主体的な支え合い活動が推進されるよう、学区社協やまちづくり協議会が実施する移動困難者の運送支援事業を支援します。また、送迎ボランティアを対象として安全運転講習会を開催します。 ※実施学区 …志津南学区、老上学区・老上西学区、南笠東学区、山田学区	736	市補助
こどもの居場所 支援事業	草津市が推進する市内のこどもの現状把握や居場所づくりの取組と連携し、こどもの居場所(こども食堂など)が安定的に確保されるよう、実施回数に応じた助成金を交付します。	426	市補助

事業・項目	内容	予算	財源
介護予防事業支援	市老人クラブ連合会が実施する事業を支援します。	72	共募
障害児者介護者リフレッシュ支援	肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する事業を支援します。	38	共募
知的障害者社会参加自立支援	草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する事業を支援します。	40	共募
中途視覚障害者支援	市視覚障害者協会が実施する事業を支援します。	8	共募
いきいきふれあい大運動会助成	市心身障害児者連絡協議会が実施する事業を支援します。	38	共募
歳末子ども支援事業助成	年末年始時期に、子ども等を対象にした事業を行う学区社協等に対して、支援金の助成を行います。	150	共募

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・高齢者への電話訪問事業
- ・福祉車両貸出
- ・社会福祉法人との連携
- ・善意銀行事業
- ・つながりサポート事業
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化

(1-3) 住民福祉活動計画の推進

地域住民と市社協がともに、同じ理念のもと、地域福祉活動に取り組めるよう、各学区の課題を把握しながら、住民福祉活動計画を策定し、未来に向けた地域福祉の推進を図ります。

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援	学区社協とともに各学区の地域課題を把握し、課題解決へ向けた地域福祉活動の推進を図ります。	60,513	市補助

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

(2) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動を広めていくため、多種多様なニーズをつかみ、ボランティア活動につなげていくことで、ボランティア活動の充実を図ります。また、誰もが参加できるボランティアの仕組みづくりを進めることで、ボランティアの輪を広めます。

(2-1) 若い世代のボランティア活動のきっかけづくり **重点**

ボランティアの高齢化が進む中、若い世代にボランティア活動に関心をもってもらい、ボランティア活動に参加してもらえるよう、ボランティアの魅力発信や、こどもや保護者が参加しやすいボランティア活動を広げる等、きっかけづくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
福祉講座活動実践事業 【再掲】	(P4参照)	861 210	市補助 ボラ基金
福祉資源循環事業 【再掲】	(P7参照)	276 145	市補助 善銀

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・共同募金活動助成
- ・災害ボランティアセンター
- ・福祉教育の推進

(2-2) 新たなボランティア発掘の仕組みづくり **重点**

ボランティアの魅力を知り、ボランティアに関心をもつ人を増やしていく仕組みづくりを進めることで、さらなるボランティアの輪を広めます。

事業・項目	内容	予算	財源
活動実践ボランティアグループ応援助成	福祉講座およびボランティアマルシェ等での活動に参加したボランティアがグループを立ち上げて実施する活動に対して助成金を交付し、継続的な活動を支援します。(1団体10,000円)	50	ボラ基金
福祉講座活動実践事業 【再掲】	(P4参照)	861 210	市補助 ボラ基金
ボランティア活動活性化助成金	ボランティアセンターに登録している団体に対して助成金を交付し、新団体の立ち上げや、既存団体の活動を継続、拡大を支援します。(1団体5,000円)	600	ボラ基金
ボランティアセンターの運営と機能強化 【再掲】	(P4参照)	270	ボラ基金
ボランティアグループリスト作成	ボランティア団体、地域サロン団体のリストを作成し、住民に周知して活用してもらうことにより、ボランティアニーズのマッチングや各団体の活動活性化を図ります。	223	ボラ基金

<関連する事業>

- ・収集ボランティア啓発
- ・福祉資源循環事業
- ・福祉教育の推進
- ・災害ボランティアセンター

(2-3) 誰もが参加できるボランティアの仕組みづくり

誰もが参加でき、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動の仕組みと、参加した人が社会貢献を実感してもらえる仕組みづくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
福祉資源循環事業 【再掲】	(P7参照)	276 145	市補助 善銀
高齢者への電話訪問	65歳以上のひとり暮らし高齢者や、昼間独居となる高齢者を対象として、傾聴ボランティアによる電話訪問を実施します。電話訪問により、高齢者の孤立・孤独を防ぐとともに、認知症を予防し、日常生活を安心して送れるよう支援します。	131	善銀
災害ボランティアセンター事業	有事の際に効果的なボランティア活動が推進できるよう、災害ボランティアセンター運営に関する訓練や研修を実施し、災害対応力の向上に努めます。また、センター運営協議会構成団体やセンター運営ボランティア、協定締結者(草津青年会議所)との連携のもと、センター運営に必要な体制の確保や、センターの取組についての周知啓発に取り組みます。	170 193	市補助 ボラ基金

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・福祉教育の推進
- ・福祉講座活動実践事業
- ・ボランティア活動活性化助成金
- ・収集ボランティア
- ・ボランティアグループリスト作成

基本目標3 新たな絆をつむぐまちづくり

いきいきと楽しく活動する場と、活動する人たちの輪を広げるため、地域や福祉という分野にとらわれず、多種多様な新たなつながりづくりを進めていきます。

(1) 地域を超えたつながりづくり

小学校区内にとどまらず、地域で活動する人たちのつながりをつむぎ、小学校区内という地域を超えたつながりを進め、活動の輪を広めます。

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティア連絡協議会助成	ボランティア連絡協議会活動を支援します。	48	共募
ボランティア連絡協議会加入促進	ボランティア連絡協議会の加入を促進するため、ボランティア活動保険料の一部を助成し、ボランティア連絡協議会への加入を促します。	60	ボラ基金
福祉車両貸出事業	外出が困難な高齢者や障害者のため、福祉車両を貸出すとともに運転ボランティアの支援が必要な場合は調整を行います。また、運転ボランティアを対象とした安全運転講習を実施します。	1,083	会費
社会福祉法人との連携	草津市内の福祉事業所との連絡会議を開催し、福祉人材の育成と地域の善意と現場の声をつなげ、支え合いの仕組みづくりを、事業所との連携で進めていきます。	40 122	市補助 善銀

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

(2) 分野を超えたつながりづくり 重点

福祉にとどまらず、地域の企業や学校、各種団体などつながり、連携を図ることで、地域の課題や地域の活動について協働で行う取組を進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
善意銀行事業	市民の善意の寄付等を財源として、下記の事業を実施します。善意銀行事業について広く啓発に取り組み、善意の寄付を募ります。 <実施している関連事業> ・生活つなぎ資金の貸付 ・高齢者への電話訪問事業 ・福祉資源循環事業 (フードバンク、福祉機器リサイクル) 等	140	善銀
社会福祉法人との連携 【再掲】	(P12参照)	40 122	市補助 善銀

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・ボランティア連絡協議会加入促進
- ・福祉資源循環事業
- ・ボランティアセンター運営と機能強化

Ⅱ.市社協が取り組む福祉の基盤づくり

～地域福祉活動発展計画～

基本目標

地域で安心して暮らしつづけることができる体制づくり

(1) 地域福祉活動支援の推進

学区社協をはじめとする地域で活動する人や団体の支援を行うことで、地域福祉活動を活性化し、誰もが安心して暮らせる体制をめざします。

(1-1) 学区社協をはじめとした地域福祉活動支援 **重点**

地域福祉の推進に欠かせない学区社協をはじめ、地域で活動する団体等に地域福祉のプラットフォームとしての役割を発揮し、ともに地域福祉活動を展開します。

事業・項目	内容	予算	財源
学区社協会長会	学区社協会長の情報交換や研修会等を実施し、福祉でまちづくりを推進する会議を年10回程度開催します。また、年に2回学区社協事務局長会議を開催し、学区社協事務局支援体制の強化を図ります。各学区の特徴や学区社協の活動状況をまとめた学区社協便覧を作成し、学区社協活動の啓発を図ります。さらに、民間の助成事業等を継続的に案内し、学区社協活動継続のための財源確保を支援します。	587	会費
第4次地域福祉活動計画の推進および第5次地域福祉活動計画の策定	地域福祉活動計画策定委員会を開催し、第4次計画の進捗管理・評価を行います。また、作業部会を立ち上げ、策定委員会とともに第5次計画の策定を行います。	665 701	市補助 会費
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援 【再掲】	(P8 参照)	60,513	市補助

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)
- ・地域福祉活動助成

(1-2) 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員との連携・活動支援とともに、地域住民の困りごと等を地域の課題として捉え、新たな事業構築などの地域福祉の推進につなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
草津市民生委員児童委員協議会事務局	事務局担当の職員を配置し、毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催します。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が活発に機能するように支援します。 さらに、職員の学区担当制により情報提供やアドバイスをを行うなど、個別援助活動が円滑にできるよう、民生委員・児童委員活動に支援・協力をします。	別途	別途

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活つなぎ資金
- ・生活福祉資金

(1-3) ボランティアセンターの機能強化 重点

ボランティアニーズの把握や、マッチング機能、ボランティアの養成や魅力のPR等、ボランティアセンターとして必要な機能を強化し、ボランティアセンターがより一層ボランティア活動の拠点となるよう取り組みます。

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティアセンターの運営と機能強化 【再掲】	(P4 参照)	270	ボラ基金

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・福祉講座活動実践事業
- ・収集ボランティア啓発
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・災害ボランティアセンター
- ・活動実践ボランティアグループ応援助成金
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・ボランティア連絡協議会加入促進

(1-4) 企業等との連携・ネットワークの構築

企業や学校、福祉事業所等、地域にある様々な団体等と、市社協が率先して連携を図り、かつ地域福祉活動の魅力などを情報発信していくことで、様々な団体と地域活動が連携を図るきっかけとし、様々なネットワークの構築へつなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
市社協会員の拡大	学区社協と連携して社協会員制度の啓発に取り組み、福祉の観点から住民・企業がまちづくりへ参画する機運を高めます。 ○一般会費 …世帯単位で社協への参画を促進します。 ○賛助会費 …企業単位で社協への参画を促進します。 賛助会費のうち55%を学区社協へ助成します。 ○団体会費 …団体の社協への参画を促進します。	(収入) 一般会費 4,704 賛助会費 2,828	会費
社会福祉法人との連携 【再掲】	(P12参照)	40 122	市補助 善銀

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市民生委員児童委員協議会事務局
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・チューリップ事業(つながりサポート事業)
- ・生活支援体制整備事業(地域支えあい推進員による学区支援)

(2) 個別援助活動の充実

貧困・孤立・孤独等を防ぎ、相談内容を受け止めることができる相談体制を構築しつつ、様々な関係団体と連携を図ることで、住民に安心を届けます。

(2-1) 包括的な相談体制の構築 重点

- 心配ごと相談所の周知・啓発を強化し、すべての人の相談に対応します。
- 生活福祉資金貸付をはじめ、個々の問題を受け止められる相談者として、研修に参加する等、職員の相談能力の向上を図り、相談体制を強化します。
- 民生委員・児童委員をはじめ、人とくらしのサポートセンター等の各種相談機関との連携を強化し、相談を受け止め、切れ目のない支援が行える体制づくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
生活つなぎ資金貸付	一時的に生活困難に陥った世帯に、生活のつなぎとして資金を貸付し、健康で安心できる生活の維持と自立の助長を図ります(令和8年6月末をもって廃止します)。	1,131	善銀
生活福祉資金貸付	経済的に困っている人に、県社協の生活福祉資金の貸付相談や貸付手続きを行います。また、県社協から受託した特例貸付利用者フォローアップ事業について、利用者に寄り添い、民生委員・児童委員とともに相談・償還指導を行います。	19,790	県社協受託
心配ごと相談所開設と相談員連絡会の開催	住民の皆さんの身近な相談窓口として「心配ごと相談所」を開設します。また、相談員間で情報交換を行うために連絡会を開催します。	845 991	市補助 会費
歳末たすけあい見舞金の配付	経済的に困っている世帯に、民生委員・児童委員と連携して見舞金を配付します。また、障害者福祉施設、団体等へ見舞金を配付します。	4,785	共募
チューリップ事業(つながりサポート事業) 【再掲】	(P5 参照)	4,428 23	市受託 会費

<関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・地域福祉権利擁護事業の推進

(2-2) 地域福祉権利擁護事業の充実

- 生活支援専門員、生活支援員の力量を向上させ、利用者が安心して生活を送れるようにしていきます。
- 金銭の入出金等に係る事務処理をより厳格なものとし、利用者の財産保全を確実なものとしめます。
- 地域包括支援センターや生活保護担当部署等、関係機関との連携をより強化し、利用者の課題に対してチームで取り組みます。
- よりわかりやすい広報誌やパンフレット、ホームページでの啓発、また出前講座を実施し、本事業への理解を深める取組を進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉権利擁護事業の推進	判断能力が十分でないため福祉サービス利用手続きや金銭管理に不安がある人を対象として、地域福祉権利擁護事業による支援を実施するとともに、事業の啓発に取り組みます。特別な支援が必要な方については、専門機関と連携しながら、きめ細かな支援を行います。また、業務に従事する専門員や生活支援員を対象とした研修会の実施や、県社協主催研修の受講を通じて、従事者のスキルアップに努めます。	1,143 348 806 3,285	会費 利用料 市補助 県社協補助

<関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・近所力アップ講座
- ・市社協ホームページ運営
- ・市社協広報紙「社協くさつ」発行

(3) 市社協の基盤強化

地域福祉活動を安定的・継続的に進めることができるよう、市社協事務局の体制を築くため、必要な財源の確保や、職員の育成に努めます。

(3-1) 地域福祉活動推進に要する財源確保 重点

- 「見える社協、魅せる社協活動」について企業等へ PR することで、地域福祉活動を応援してくれる賛助会員を増やし、加入促進を図るとともに、市社協会費制度への理解と協力を広げます。
- クラウドファンディングや目的を明確にした寄付金の提案等、新たな財源確保の方策を検討します。
- 市内の地域福祉活動へ助成を行っている赤い羽根共同募金運動を盛り上げることで、財源確保につなげます。

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティア基金の運用、寄付金の募集	ボランティアセンターの運営、ならびに多様なボランティア活動や地域福祉活動の振興を図るために、寄付金募集の呼びかけを行います。また、賛助会員に対して寄付募集を呼びかけ、協力を依頼します。	(収入) 950	ボラ基金
「社協くさつ」「ホームページ」有料広告の拡大	広報紙「社協くさつ」およびホームページのバナー広告についての掲載募集を呼びかけ、財源確保に努めます。	(収入) 65	自主
寄付付き名刺の販売	売上の一部が当会へ寄付される「寄付付き名刺」をNPO法人アイ・コラボレーションと協働で販売し、寄付金の増収を図ります。	(収入) 3	自主
共同募金運動の推進	民間福祉事業の振興を図るために、10月から12月まで全国で展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進します。共同募金活動(赤い羽根・歳末たすけあい)について地域や住民の団体等に広く呼びかけ、地域福祉推進に関する理解と募金への協力を求めます。	別途	別途
赤十字事業の推進 (日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)	日本赤十字社の会員募集や赤十字活動の普及に取り組むとともに、赤十字の活動を支える草津市赤十字奉仕団の活動を地区事務局として支援します。また、必要に応じて国内義援金、海外救援金の受付を行います。	別途	別途
善意銀行事業 【再掲】	(P13参照)	140	善銀
市社協会員の拡大 【再掲】	(P16参照)	(収入) 一般会費 4,704 賛助会費 2,828	会費

(3-2) 事務局体制の強化

- 役職員等に対しての地域福祉研修会などを実施し、社会変化に応じた社協運営ができるよう努めます。
- 全職員のスキルアップをはかり、地域福祉コーディネート機能を発揮できるよう努めます。
- 事業の効果等確認し、継続する事業や見直す事業を明確にし、より地域のニーズにあった事業への更新等を行います。
- 「草津市社会福祉協議会職員行動原則」にのっとり、常に使命感をもち、信頼される社協づくりを進めます。

事業・項目	内容	予算	財源
社会福祉援助技術 現場実習	福祉人材の育成に寄与できるよう、社会福祉士国家試験受験資格の取得をめざす学生を、実習生として受け入れます。	(収入) 115	自主
第三者委員会の設置	市社協事業の信頼性の確保および適正な事業実施のため、第三者委員会を設置します。	2	自主
理事会・評議員会の運営	役員体制の強化および透明性のある組織運営を図ります。	931	自主
職員研修、職員会議の開催	人権意識やコンプライアンスをはじめとした職員の資質向上に関するテーマや、地域福祉コーディネートのスキルアップにつながる内容により、職員研修を実施します。また、業務進捗や各種情報の共有、業務上の課題解決のために職員会議を開催します。このほか、社会福祉の動向等についての意見交換や、各事業の担当者会議を随時実施することにより、職員間の連携強化を図ります。	80	自主
関連団体と役員研修	滋賀の地域福祉活動の推進に関する情報交換や役職員研修の機会として活用できるよう、積極的に参加します。 ・滋賀県社会福祉協議会会費 ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会会費 ・湖南地域社会福祉連絡協議会会費 ・滋賀県社協縁特別会員会費 他	1,163	自主